Polaroid

フル HD ドライビングレコーダー

E272S/S272W

ユーザーマニュアル

Questions?
Need some help?
This manual will help you enjoy your new product

If you still have questions, call our help line:
1-877-456-6055

or visit us at:
www.polaroid.co

目次

このガイドについて 4
FCC ステートメント 4
コロケーションの禁止 4
重要な注意 5
WEEE の通達 5
CE 規制の通知 5
バッテリー警告 6
設置における注意 6
注意 7

1 はじめに 10

1.1 特徴 10
1.2 パッケージの内容 10
1.3 製品の概要 11

2 入門編 12

2.1 メモリカードの挿入 12
2.2 車内への設置 13
2.2.1 フロントガラスへの取り付け 13
2.2.2 機器の位置調整 14
2.3 電源への接続 15
2.4 LED インジケーター 16
2.5 機器の電源オン/オフ 17
2.5.1 自動電源オン/オフ 17
2.5.2 手動電源オン/オフとリセット 17
2.5.2.1 手動電源オン 17

2.5.2.2 電源オフ 17
2.5.2.3 本機のリセット 17
2.6 初期設定 18
2.6.1 自動録画の設定 18
2.6.2 日付/時刻の設定 19
2.7 アプリケーション 20
2.7.1 アプリケーションのインストール 20
2.7.2 Wi-Fi の接続 20
3 ドライブレコーダーの使用 22
3.1 ビデオ録画 22
3.1.1 運転中のビデオ録画 22
3.1.2 LDWS (車線逸脱警告システム) 22
3.1.3 運転者疲労警報 24
3.1.4 動体検知 25
3.1.5 他のすべてのタイプのビデオ録画 26
3.1.6 緊急録画 26
3.1.7 録画画面 27
3.1.8 スナップショットの撮影 28
3.1.9 LCD 画面の 4 グリッド機能チャート 29
3.2 ビデオの再生と画像の表示 30
3.2.1 ビデオと緊急録画の再生 30
3.2.2 画像の表示 31
3.2.3 再生画面 32
3.2.4 ファイルの削除 34
4 設定の調整 35
4.1 メニューの使用 35

4.2 メニュー項目 36

5 ソフトウェアのインストール.....41

6 スーパーカー 42

7 仕様.....43

このガイドについて

本書の内容は情報の記載を目的としており、予告なく変更することがあります。 当社ではこのユーザーガイドの正確性と完全性には万全を期していますが、情報の内容に一切誤りや欠落がないという保証はありません。
メーカーは技術仕様を予告なく変更する権利を保有しています。

FCC ステートメント

本機は、FCC 規則パート 15 に従って、クラス B デジタル機器の制限に準拠するよう試験が行われ、認められました。 これらの制限は、住宅用設置物に有害な妨害に対し合理的に保護するよう設計されています。 本機は、無線周波数エネルギーを発生、使用、および発射します。また、取扱説明書に従わずに取り付けて使用した場合、無線通信に有害な妨害が発生することがあります。 しかし、特別な設置で妨害が起こらないという保証はありません。本機は、ラジオまたはテレビに有害な受信妨害を発生させます。これは本機の電源をオフ / オンにすることで判断できます。次の対策の 1 つ以上を行うことで妨害の修正を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きまたは場所を変える
- 本機とレシーバーの間をさらに離す
- レシーバーが接続されている回路のコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 支援を受けるには、販売店または経験を積んだ無線またはテレビ技術者にご相談ください。

本機は FCC 規則パート 15 に準拠しています。 動作は次の 2 つを条件とします。 (1) 本機は有害な妨害を起こさない。(2) 本機は希望しない動作を発生しかねない妨害を含むいかなる受信妨害も受け入れる必要がある。

FCC の注意 コンプライアンス責任のある当事者が明示的に承認していないなんらかの変更を行った場合、本機を操作するためのユーザー権限が無効になります。

FCC ID： 2ACFIWM7911B を含みます

コロケーションの禁止

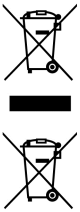
本機とアンテナは他のアンテナや送信機と同じ場所に配置したり操作してはいけません。

重要な注意

放射線被爆ステートメント: 本機は制御不能な環境に対して宣言された FCC 放射線被爆制限に準拠しています。 エンドユーザーは、RF 被爆適合性を満たすために特定の操作指示に従う必要があります。 本機は、ラジエーターを人体から少なくとも 20cm 離した状態で設置し、操作します。 FCC 被爆適合性要件への順守を維持するために、本書に示された操作指示に従ってください。

WEEE の通達

EU の個人の家庭におけるユーザーによる電気および電子機器またはバッテリー廃棄物の廃棄



製品または梱包物にあるこのマークは、家庭ごみとして廃棄できないことを示しています。 電気および電子機器またはバッテリーのリサイクルのため、装置またはバッテリーのごみは該当する引き取り組織に引き渡すことで廃棄する必要があります。 本機またはバッテリーのリサイクルの詳細情報については、市区町村役場、本機を購入した販売店、またはお近くの家庭ごみ廃棄サービスにお問い合わせください。 材料のリサイクルは、天然資源の保護を助け、人間の健康および環境を守る方法で確実にリサイクルされます。

CE 規制の通知

本装置はＥＵ理事会指令「ラジオと電気通信設備の電磁両立性(1995/5/EC)」と関わりを持つ各地域の規定に符合する事が確認されております; 低電圧指令 (2006/95/EC); 電気電子機器における特定有害物質使用制限指令(2002/95/EC), トルコのEEE指令。

EU健康保護: 本機は、ラジエーターを人体から少なくとも20cm離した状態で設置し、操作します。

本製品は1999/519/ECの基本制限に準拠します。

バッテリー警告

- ❖ 常に付属のシステムを使用して充電してください。 バッテリーを不適切に取り扱うと、爆発を招くおそれがあります。
- ❖ バッテリーを分解したり、穴を開けたりしないでください。またはバッテリーをショートさせないでください。
- ❖ バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。
- ❖ 直火にさらされると、バッテリーは爆発することがあります。 バッテリーは絶対に火気に投じないでください。
- ❖ 使用済みバッテリーの廃棄は、地方条例を順守してください。
- ❖ **バッテリーを自分で交換することは絶対にしないでください。交換の際は、販売店にご依頼ください。**

設置における注意

1. 本製品はバックミラーの近くに、可能であればフロントガラスの中心に取り付けると最適な視界が得られます。
2. レンズが必ず前面ガラス ワイパーのワイプ範囲内にあるようにして、雨の場合もクリアな表示ができるようにしてください。
3. レンズに指で触れないでください。 指の脂がレンズに残り、不明瞭なビデオ画像やスナップショット画像の原因となります。 レンズは定期的にお手入れしてください。
4. 本機を色付き窓に設置しないでください。 そうすることにより、色付きフィルムが損傷する恐れがあります。
5. 設置場所は必ず色付き窓に妨げられない場所にしてください。
6. 本設備は付属品の電源コネクタのみ適用です。発火や爆発を防ぐために、他メーカーの電源コネクタのご使用はご遠慮ください。

注意

- 地域の法律と車両安全考慮事項に基づき、運転中は装置を操作しないでください。
- 時刻と日付を正しく設定してから本機器をご利用ください。
- Google Map が正常に機能する場合、SuperCar ソフトウェアをご利用ください。
- 本機器のファームウェア機能は参照目的で紹介されています。道路の実際の状態に従ってください。
- GPS 位置測定の結果は参照としてのみ利用し、この結果に基づいて実際に運転するべきではありません。 このシステムはまた、位置測定の精度を保証しません。
- GPS 位置測定の精度は天候や高層建築、トンネル、地下、森林などの場所によって変わる場合があります。 GPS の衛星信号は (ガラス以外の) 固体を通り抜けることができません。色付きの窓も GPS 衛星信号の受信に影響を与えます。
- GPS の受信性能は装置によって変わる場合があります。 この システムでは、複数の装置から精確な位置測定結果を割り出すことはできません。
- 本システムに表示される速度、方位、スピード測定器設置ポイントとの距離警告などの数値は、外的要因により誤差が生じる場合があります、あくまで参考としてご利用ください。
- 本機で衛星ステータス、時間同期、速度検出写真プロンプト、ユーザー定義の速度検出スポット管理、ユーザー定義の速度制限プロンプト、車線逸脱検出、運転手疲労警報などを利用する場合、GPS モジュールと車両コネクターを取り付ける必要があります。
- このシステムは、適用される法律で許される最大限度内で、非営利目的でのみ使用されます。 弊社は操作中に発生したいかなるデータの損失に対しても責任を負いません。
- Wi-Fi信号は建物を通過できません。信号伝送の上限は10mです。
- Wi-Fi操作チャンネルリスト：Ch1～Ch11。

- ❖ 製品はワイヤレスデータ通信を採用しているため、近くの機器に電波障害を起こしたり、近くの機器により電波障害を受けることがあります。
- ❖ 本機を電子オーブンの近くまたは電波障害のある場所で使用しないでください。
- ❖ 特定環境では、電波受信が悪化することがあります。
- ❖ 別の機器も本製品と同じ2.4GHz帯域を使用している場合、両方の機器の処理速度が遅くなることがあります。
- ❖ 本製品は使用中暖かくなりますが、これは異常ではありません。
- ❖ 製品の不適切な使用または操作は、製品または付属品の損傷の原因となり、保証が無効となります。
- ❖ このRF電子機器で生成された無線周波数(RF)は他の電子機器の操作に悪影響をもたらす原因となり、故障を引き起こすことがあります。ワイヤレス通信と回路も他の電子機器に障害をもたらすことがあります。それ故、次の注意事項に従ってください。
    - 航空機：機内では、無線送信機を使用しないでください。機器のWi-Fi機能をオフにしてください。
    - 車両：本機で送信される無線周波数は、車両の電子システムに影響を及ぼすことがあります。影響の可能性については、車両のメーカーまたは販売店にお問い合わせください。
    - ペースメーカー：ペースメーカーに対する干渉の可能性を防ぐために、ペースメーカーを使用する人には、本機を使用しているとき、機器とペースメーカーの間に15cm(6インチ)以上の距離を置き、胸ポケットに本機を入れないように通知する必要があります。無線障害の疑いがある場合は、直ちに本機のスイッチをオフにしてください。
    - 医療機器：個人用医療器を使用している場合、機器メーカーまたは医師に問い合わせてお使いの機器が本機の無

線通信から十分にシールドされているか確認してください。

- 医療施設：病院と医療研究所は、外部RFエネルギーに敏感な施設を使用することがあります。医療職員や掲示で無線周波数に障害を与える可能性のある機器のスイッチをオフにするように求められたら、その指示に従ってください。
- 爆発地点または掲示のある場所：爆発の障害を防ぐために、爆発地点または「両方向ポケットラジオのスイッチをオフにすること」の標識のある区域ではすべての標識または指示に従い、無線周波数に障害を与える可能性のある機器のスイッチをオフにしてください。

本システムの利用を開始することで、あなたが上記のステートメントに同意するものと見なされます。

1 はじめに

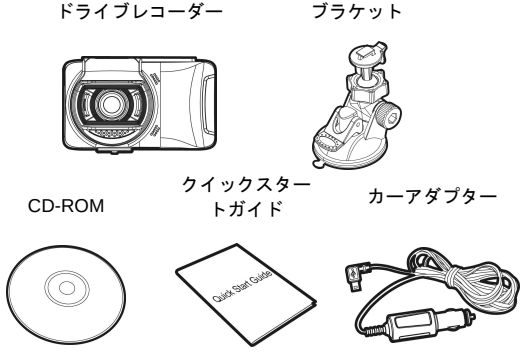
最先端技術が搭載されたドライブレコーダーをお買い上げ頂きありがとうございます。 本機器は運転中に、リアルタイムでビデオとオーディオの録画・録音ができるように特別設計が施されています。

1.1 特徴

- フル HD 録画ビデオ (1920x1080@30fps または 1280x720@60fps)
- 2.7 インチ LCD カラータッチスクリーン
- 広角レンズ
- 多機能交通安全リマインダー
- 衝突検出時の自動緊急録画
- SDHC レベル 6 以上対応します。最高 32GB まで対応します

1.2 パッケージの内容

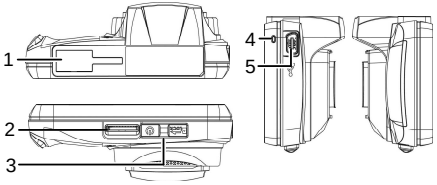
パッケージは次の項目を含んでいます。欠損品目または破損品目がある場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。



1.3 製品の概要

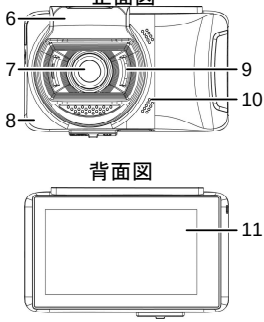
上面図と底面図

側面図（左と右）



正面図

背面図



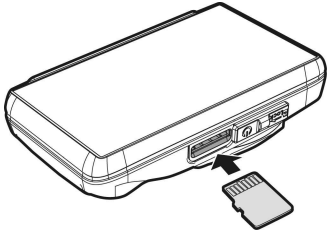
番号	項目
1	ブラケットソケット
2	メモリカードスロット
3	電源スイッチ
4	LED インジケーター
5	USB / 電源コネクター
6	GPS アンテナ

番号	項目
7	広角レンズ
8	Wi-Fi 送信
9	スピーカー
10	マイクロフォン
11	LCD タッチパネル

2 入門編

2.1 メモリカードの挿入

図のように、メモリカードの金色のパーツと本機の画面を上に向けた状態でカードを挿入します。 カチッという音が聞こえたら、カードが定位置に収まったことを意味します。



メモリカードの取り出し

メモリカードを押すと、カードがスロットから外れて出てきます。

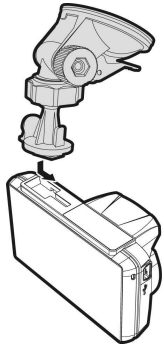
注意:

1.本機の電源がオンになっているときは、メモリカードを取り出したり、挿入したりしないでください。 メモリカードが損傷することがあります。
2. Class 6 以上の定格の Micro SD カード (最大 32GB)を使用してください。
3. 初めて使用するときは micro SD カードをフォーマットしてください。
4.メモリカードを取り外すとき、カードが飛び出て紛失する可能性があるので注意してください。カードを簡単に取り外せるように、メモリスロットにはバネが入っています。

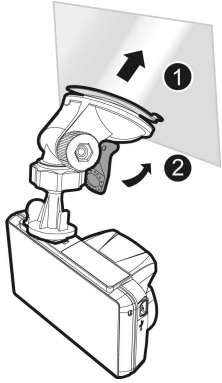
2.2 車内への設置

2.2.1 フロントガラスへの取り付け

1. ブラケットを本機上部のブラケットスロットに取り付けます。カチッという音が聞こえるまで押します。

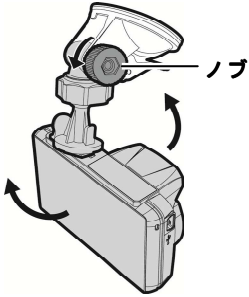


2. 吸着カップをフロントガラスに平行に押し付けます。
3. 土台をフロントガラスにしっかり当て、クランプを押し下げてカーホルダーをフロントガラスに取り付けます。 土台が所定の位置で固定されていることを確認します。

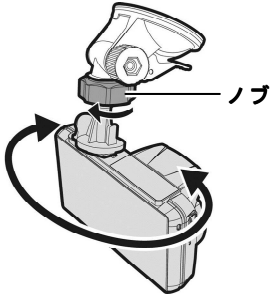


2.2.2 機器の位置調整

1. ノブを緩め、本機を垂直方向に回転させます。



2. ノブを緩め、本機を最大360°水平方向に回転させます。

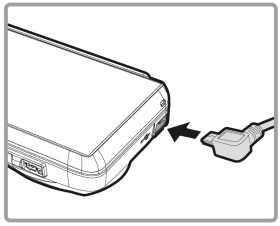


3. ノブを締め、本機が安全に所定の位置で固定されていることを確認します。

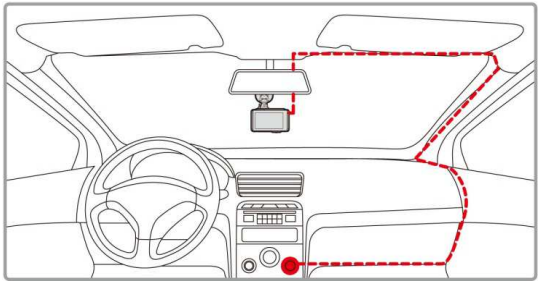
2.3 電源への接続

付属の自動車用アダプターのみを使用して、機器をパワーアップし、内蔵バッテリーを充電します。

1. 電源コネクターの一方の端を本機の USB/電力コネクターポートに接続します。



2. カーチャージャーの他方を車両のシガレットライターソケットに差込みます。 自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。



注意:
本製品はバックミラーの近くに、可能であればフロントガラスの中心に取り付けると最適な視界が得られます。

バッテリーステータスインジケーター:

アイコン	説明
	バッテリーは完全に充電されている状態です。
	バッテリーは 2/3 が残っています。
	バッテリーは 1/3 が残っています。
	バッテリーの残量がありません。
	バッテリーは充電中です。
	カーアダプターを接続し、バッテリーを充電してください。バッテリーは完全に充電されています。

注意:
周囲温度が45°C以上になってもカーアダプターは電源を供給できますが、リチウムイオンバッテリーは充電できなくなります。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、欠陥品ではありません。

2.4 LED インジケーター

ステータス説明	LED インジケーターの色
電源オフ、バッテリー充電中	赤
電源オフ、バッテリー完全充電状態	LED ライトオフ
電源オン、バッテリー充電中	赤
電源オン、バッテリー完全充電状態	緑
待機 / 待機で画面オフ	緑
録画中 / 録画中で画面オフ	赤で点滅

2.5 機器の電源オン/オフ

2.5.1 自動電源オン/オフ

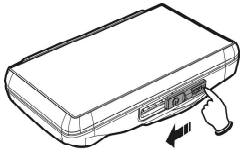
自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。**自動録画**機能を有効にした場合、本機に電源を入れた直後に自動的に録画を開始します。

自動録画の設定 (2.6.1) をご覧ください。

2.5.2 手動電源オン/オフとリセット

2.5.2.1 手動電源オン

電源スイッチを押し、電源スイッチがメモリカードスロットの上で固定されていることを確認します。



オン

2.5.2.2 電源オフ

電源スイッチを押し、メモリスロットが開放され、本機の電源オフシーケンスが始まったことを確認します。電源オフシーケンスに入っているときは本機の電源を入れないでください。録画ファイルが壊れることがあります。

オフ

2.5.2.3 本機のリセット

不明な原因により本機が通常どおりに機能しなくなった場合、**電源スイッチ**を押し、メモリカードが取り外し可能な状態であることを確認します。7 秒待ち、もう一度電源スイッチを押し、本機を再起動します。

2.6　初期設定

本機を使用する前に、**自動録画**機能を有効にし、正確な**日付と時刻**を設定することをお勧めします。

2.6.1 自動録画の設定

自動録画の初期設定が有効になっています。 電源を入れると、本機は自動的に録画を開始します。 自動録画が無効になっている場合、次の手順で有効にします。

1. に触れて、メインメニューに入ります。

2. に触れて、**録画**メインメニューに切り替えます。

3. に触れ、 を選択して**自動録画**機能メニューに入ります。 に再度触れて、**オン**を選択します。

4. に触れて、録画画面に戻ります。

2.6.2 日付/時刻の設定

正しい日付と時刻を設定するには、以下の手順に従ってください。

1. に触れて、メインメニューに入ります。

2. **システム**メインメニューで、 に触れ、 を選択して**時間帯の設定**メニューに入り、 に触れ、現在の時間帯を設定します。 再度触れて、設定を完了します。

3. を選択し、**日付/時刻**メニューに入ります。 に触れて、値を選択します。 に触れ、前または次の項目を選択します。 に触れて確定し、設定を完了します。

注意:

1.***時間同期***がオンの場合、本機の時計は、*時間帯設定*に基づき、衛星の時計信号により調整されます。***衛星同期化*** (4.2) をご覧ください。

2.衛星が車両の位置を特定できない場合、本機の時計はユーザーが定義した時間に基づいて動きます。

3.録画中に に触れると録画が停止し、メインメニューに入ることに注意してください。操作メニューを選択する前に、録画を停止できます。

2.7 アプリケーション

このカメラでは、アプリを通じてモバイルデバイスに接続できます。初めて使用するとき、お使いのモバイルデバイス用の **Life Cam** アプリをインストールします。

2.7.1 アプリケーションのインストール

1. Google Play か App Store で Life Cam

アプリケーションを探します。
2. アプリをインストールします。

アプリレイアウトと特徴は、異なるソフトウェアバージョンによって変わることがあります。更新については、Google Play または APP Store を参照してください。

2.7.2 Wi-Fi の接続

1. に触れて、メインメニューに入ります。
2. に触れて、**システム**メインメニューに切り替えます。
3. に触れて、 を選択し、**Wi-Fi** 機能メニューに入ります。画面に機器 ID と Wi-Fi パスワードが表示されるのを待ちます。

機器 ID
Wi-Fi パスワード

注意：
このマニュアルの関連 Wi-Fi 内容は S272W 付随機能で、E272S には Wi-Fi 機能がついていない。

4. モバイルデバイスの Wi-Fi 機能を使用し、リストから機器 ID を探し、Wi-Fi パスワードを選択して入力します。

iOS / Android ユーザーの場合:

モバイルデバイス [設定] ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [機器 ID 番号: S272WXXXXXX の選択] ⇒ [パスワードの入力] ⇒ [接続] を使用します。

5. Life Cam アプリを実行します。

6. Wi-Fi リンクを切断するには、Life Cam アプリケーションを終了します。

注意:

1.装置の Wi-Fi 機能がアクティブになっており、モバイルデバイスが Wi-Fi 信号を受信していることを確認してから、Life Cam アプリを実行します。さもないと、アプリは終了します。

2.モバイルデバイスは、間に建物を挟まずに装置から最大 10m の距離の範囲内に設置する必要があります。

3.装置の Wi-Fi 機能がモバイルデバイスに接続されない状態で 3 分間アクティブになっていたり、接続が切れたりすると、Wi-Fi 機能は自動的に停止し、Wi-Fi 機能を再びアクティブにする必要があります。

4.装置を使用する前に、録画されたビデオがモバイルデバイスの日付と時間設定と一致するように、モバイルデバイスの日付と時間を正しく設定する必要があります。

5.モバイルデバイスとリンクすると、機器の画面のタッチコントロールが無効になります。操作は LifeCam アプリケーション経由で実行します。機器を直接操作するには、最初に LifeCam アプリケーションを終了する必要があります。操作時、LifeCam プログラムを中断させ、再スタートしてください。

6.LifeCam アプリの言語はモバイルデバイスの言語と一致しますが、その言語が内蔵されていない場合デフォルトの言語になります。

3 ドライブレコーダーの使用

3.1 ビデオ録画

3.1.1 運転中のビデオ録画

自動車のエンジンが始動したときに**自動録画**機能が有効になっていると、本機の電源が自動的に入り、録画を開始します。
自動録画が開始してから 2 秒以上経過しないとタッチパネル機能は利用できません。

エンジンが停止するか、 に触れて、手動で録画を停止すると、録画が自動的に停止します。

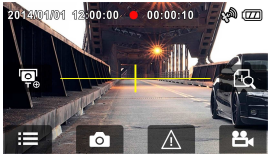
注意:
車両によっては、エンジンが切れても録画が継続することがあります。
その場合、手動でシガレットライターをオフにするか、シガレットライターからカーアダプターを取り外します。

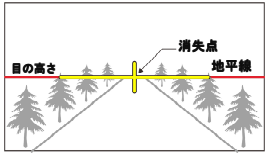
3.1.2 LDWS (車線逸脱警告システム)

衛星が車両の位置を特定した後、**LDWS** が有効になっているとき、車両の速度が 50 km/h (31 mile/h) に到達し、車両が本来の車線から外れると、本機は音声で警告するか、画面に警告を表示します。
LDWS (車線逸脱警告システム) を設定するには、次の手順に従います。

1. に触れて、メインメニューに入ります。
2. に触れて、**運転の安全** メインメニューに切り替えます。
3. に触れ、 を選択して **車線逸脱警報** 機能メニューに入ります。 に再度触れ、機能を有効にします (**オン**にします)。
4. に触れて、録画画面に戻ります。

5. LDWS を有効にすると、画面に LDWS の十字線 が表示されます。機器を調整し、地平線を横の線に、縦の線を道路の真ん中に合わせてください。





6. 衛星により車両の位置が特定される状態にあるとき、車両の速度が 50 km/h (31 mile/h) に到達し、車両が本来の車線から外れると、本機は音声で警告するか、画面に警告を表示します。

注意:

1.**LDWS**は、衛星により車両の位置を特定できる状態にあるときのみ適用できます。この機能を有効にする場合、衛星により車両の位置を特定できる状態にあることを確認してください。衛星測位機能は購入したモデルによって異なります。

2.LDWS、FWDS、前方車両発進警告を有効にするとき、この自動調整手法に従い、精度を上げてください。

3.本製品が外部電源と接続しない場合、LDWS、FCWS、前方車両発進警告、ヘッドライト警告、速度カムアラート、制限速度アラート、運転者疲労警報、衝突検出、ACC/DEC警報など、すべての***安全運転***機能が無効になります。

3.1.3 運転者疲労警報

運転者疲労警報が有効になっていると、本機の電源が入ってから 1 時間後に音声による警報と警告画面が始動します。その後、30 分おきに繰り返されます。

運転者疲労警報を設定するには、次のように操作します。

1. に触れて、メインメニューに入ります。

2. に触れて、**運転の安全**メインメニューに切り替えます。

3. に触れ、 を選択して**運転者疲労警報**メニューに入ります。 に再度触れて有効にします (**オン**にします)。

4. に触れて、録画画面に戻ります。

注意:
本製品が外部電源と接続しない場合、LDWS、FCWS、前方車両発進警告、ヘッドライト警告、速度カムアラート、制限速度アラート、運転者疲労警報、衝突検出、ACC/DEC 警報など、すべての***安全運転*** 機能が無効になります。

3.1.4 動体検知

動体検知が有効になっている場合、本機の電源を入れると、画面に「***10 秒待って動作検出に入るか、画面に触れて電源を切ります***」というメッセージが画面に表示されます。これは 10 秒後に動作検知に自動的に入ることを意味します。本機がレンズの正面で何らかの動きを検知すると、設定した時間だけ録画されます。

動体検知を設定するには、次のように操作します。

1. に触れて、メインメニューに入ります。

2. に触れて、**運転の安全**メインメニューに切り替えます。

3. に触れ、 を選択して**動体検知**メニューに入ります。
   に再度触れて有効にします(**オン**にします)。

4. に触れて、録画画面に戻ります。

注意:
1. 電池が満充電後、動作検知モードでの連続録画時間は30分です。
2. 電池的電池の蓄電能力は使用していくにつれて徐々に減少し、これは電池の正常な現象です。

3.1.5 他のすべてのタイプのビデオ録画

1. に触れて、録画を開始します。

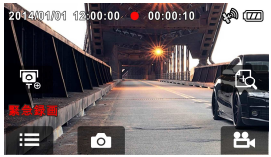
2. にもう一度触れると録画が停止します。

注意:
1.録画中、3分または5分おきにビデオファイルを保存するように設定できます。***ビデオ継続時間*** (4.2) をご覧ください。
2.本機はメモリカードに録画を保存します。メモリカードの容量が上限に達した場合、メモリカードにある最も古いファイルが上書きされます。

3.1.6 緊急録画

録画設定を開始するには、以下のように操作します。

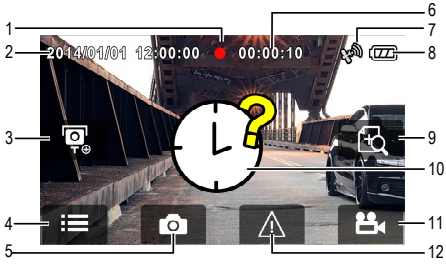
1. ビデオの録画中、 に触れると緊急録画モードに入ります。直後に画面の左下隅に「緊急」というメッセージが表示され、録画されたファイルは保護されます。



2. にもう一度触れると録画が停止します。

注意:
1.***衝突検出***機能を有効化しているときに衝突が検出されると、緊急録画が自動的に始まります。***衝突検出*** (4.2) をご覧ください。
2.緊急録画ファイルが新規ファイルとして作成され、通常の定期録画により上書きされないように保護されます。8G(以上)のメモリカードで最大8個の緊急ビデオファイルを保存できます。緊急録画ファイルが一杯になると、「***緊急ファイルが一杯です***」という警告メッセージが画面に表示されます。新しい緊急録画ファイルが作成されると一番古い緊急ファイルが自動的に削除されます。

3.1.7 録画画面



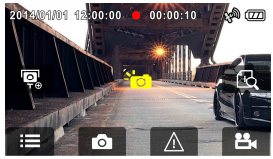
番号	アイコン	項目	説明
1		録画 アイコン	録画状態を示します。
2	2014/01/01 12:00:00	日付 / 時刻	現在の録画日付と時刻を示します。
3		速度点追加	をタッチして、速度カムポイントを追加してください。
4		メニュー	に触れて、メインメニューに入ります。
5		スナップショットの撮影	録画中、 に触れて写真を撮ります。
6	00:00:10	録画時間長	現在のビデオの時間長を示します。
7		衛星位置付け アイコン	アイコンは、衛星が車両の位置を特定できる状態になったときに画面に表示されます。

8		バッテリー	バッテリー電源の残量を表示します。
9		LCD 画面の 4 グリッド機能チャート	に触れて、LCD 画面の 4 グリッド機能チャートに入ります。***LCD 画面の 4 グリッド機能チャート*** (3.1.9) をご覧ください。
10		日付 / 時刻の再設定プロンプト	本機の使用を始める前に、日付 / 時刻を再設定する必要があることを通知します。 ***日付/時刻の設定*** (2.6.2) をご覧ください。
11		録画	に触れて録画を開始し、もう一度 に触れて録画を停止します。
12		緊急録画	ビデオの録画中、 に触れて緊急録画モードに入ります。***緊急録画*** (3.1.6) をご覧ください。

3.1.8 スナップショットの撮影

本機を使用して、現在の光景のスナップショットを撮影することもできます。

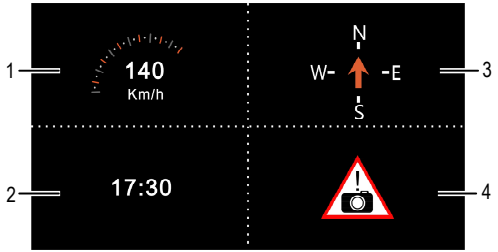
1. 録画モード中に を押し、スナップショットを撮影します。
2. スナップショットが撮影されるとき、この アイコンが画面の中央に表示されます。



3.1.9 LCD 画面の 4 グリッド機能チャート

録画しているときに に触れます。LCD 画面に 4 グリッド機能チャートが表示されます。

どこでもよいので画面に触れると録画画面に戻ります。



番号	項目
1	運転速度
2	時刻

番号	項目
3	運転方角
4	速度カムアラート

注意:
運転速度、運転方角、速度カムアラート、衛星が車両の位置を特定できる状態にある場合にのみ適用されます。特定できない場合、灰色の尺度で表示されます。衛星測位機能は購入したモデルによって異なります。

3.2 ビデオの再生と画像の表示

3.2.1 ビデオと緊急録画の再生

ビデオ録画ファイルは次のように再生します。

1. に触れて、メインメニューに入ります。
2. に触れ、**ファイル / 位置**メニューに切り替えます。
3. に触れ、**ビデオ / 緊急録画** 機能メニューに入ります。

4. に触れてビデオファイルを閲覧します。再生するビデオが決まったら、そのプレビューに触れると再生モードに入ります。

5. に繰り返し触れると録画画面に戻ります。

3.2.2 画像の表示

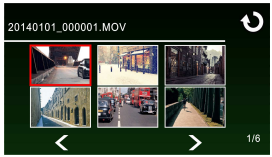
次のように画像を表示します。

1. に触れ、メインメニューに入ります。

2. に触れ、**ファイル / 位置**メインメニューに切り替えます。

3. に触れ、**画像**機能メニューに入ります。

4. に触れて画像ファイルを閲覧します。表示する画像が決まったら、そのプレビューに触れると画像再生モードに入ります。



5. に繰り返し触れると録画画面に戻ります。

3.2.3 再生画面

ビデオ再生画面

フォト再生画面

番号	アイコン	項目	説明
1	20140101_00001.MOV	ファイル名	現在のビデオまたは画像ファイルの名前を示します。
2	00:00:01/00:00:10	現在の時間長/ビデオ時間長	現在のビデオファイルのタイムコードと時間長を示します。
3		メニュー	に触れ、**ファイル削除**メニューに入ります。
4		巻き戻し / 前のファイル	• ビデオまたは画像が再生されていない状態で に触れると前のファイルに切り替わります。 • ビデオ再生モードで に触れると、逆再生が始まります。
5		戻る	に触れると、ビデオまたは画像の前の画面に戻ります。 に繰り返し触れると録画画面に戻ります。

番号	アイコン	項目	説明
6		早送り / 次のファイル	• ビデオまたは画像が再生されていない状態で に触れると次のファイルに切り替わります。 • ビデオ再生モードで に触れると、ビデオが早送りされます。
7		再生/一時停止	に触れるとビデオが再生されるか、一時停止されます。

3.2.4 ファイルの削除

ファイルを削除するには、次の手順に従ってください。

1. に触れ、メインメニューに入ります。
2. に触れ、**ファイル / 位置**メインメニューに切り替えます。
3. に触れ、**ビデオ/画像/緊急録画**メニューに入ります。
4. に触れてビデオまたは画像ファイルを閲覧します。プレビュー画像に触れると**ビデオ/画像再生モード**に入ります。
5. に触れて**削除ファイルを選択**メニューに入り、を選択してファイルを 1 つまたは全部選択します。に触れて選択を確定するか、取り消します。

項目	説明
1 つ削除	現在のファイルを削除します。
すべて削除	すべてのファイルを削除します。

6. に繰り返し触れると録画画面に戻ります。

注意:
削除されたファイルは復元できません。削除の前に必ずファイルをバックアップしてください。

4 設定の調整

4.1 メニューの使用

画面のディスプレイ (OSD) メニューから、一般設定をカスタマイズできます。

1. 録画モードの に触れ、録画を停止し、メインメニューに入ります。
2. に触れ、メインメニューに切り替えます。
3. に触れ、それぞれのメインメニューの機能項目を閲覧します。機能アイコンに触れ、設定画面に入ります。
4. 機能項目の設定が完了すると、本機は自動的に選択した機能のメインメニューに戻ります。
5. に触れ、録画画面に戻ります。

4.2 メニュー項目

メインメニューと機能一覧についての詳細は下の表をご覧ください。

メインメニュー	機能一覧	説明	使用可能なオプション
システム	日付 / 時刻	日付と時刻を設定します。	
	時間帯の設定	お住まいの地域の時間帯を設定します。	UTC -12:00 ~ UTC +12:00
	衛星同期化	有効になっていると、衛星が車両の位置を特定したとき、本機の時計は設定されている時間帯の衛星時計に基づいて自動的に調整されます。	オン / オフ
	ビープ音	ビープ音を有効/無効にします。	オフ / 低 / 中 / 高
	言語設定	画面のディスプレイメニュー言語を設定します。	English / 繁體中文 / 简体中文 / Русский / Español / Deutsch / Français / Português / Italiano / Japanese / Arabic
	距離単位	距離の単位を選択します。	キロ / マイル
	LCD 設定	LCD オフタイムを設定します。 待機または録画モード中に操作が検出されない場合、設定した時間が過ぎると本機の画面がオフになります。 どこでもよいので画面に触れると再びオンになります。 (画面がオフでは録画には影響がありません。)	オン / 30 秒後に電源オフ / 3 分後にオフ

メインメニュー	機能一覧	説明	使用可能なオプション
	~~=WiFi=~~	~~モバイルデバイスのWiFiサンクを設定もます。~~	
	衛星システム	場所の衛星システムを選択します。	GPS / GLONASS
	レコーダーフォーマット	装置に挿入されたメモリカードをフォーマットします。 カードのファイルはすべて消去されます。	はい / いいえ
	デフォルト	装置を初期設定に戻します。	はい / いいえ
	ファームウェア	現在のファームウェアを示します。	
ファイル/位置	ビデオ	ビデオファイルを再生/削除します。	
	画像	画像ファイルを再生/削除します。	
	緊急録画	緊急録画ファイルを再生/削除します。	
	速度点追加	衛星が車両の位置を特定した後に速度点を手動で追加します。最大 200 の速度点を定義し、追加できます。	
	速度点削除	定義したすべての速度点をシステムから削除します。	

メインメニュー	機能一覧	説明	使用可能なオプション
運転の安全	車線逸脱警報	衛星が車両の位置を特定した後、LDWSが有効になっているとき、車両の速度が50 km/h (31 mile/h)に到達し、車両が本来の車線から外れると、本機は音声で警告するか、画面に警告を表示します。	オン / オフ
	フロント衝突警告	衛星が車両の位置を特定した後、FCWSが有効になっているとき、車両の速度が50 km/h (31 mile/h)を超え、前の車両との距離が 20m 以内に入ると、本機は音声で警告するか、画面に警告を表示します。	オン / オフ
	前方車両発進警告	衛星が車両の位置を特定した後、前方車両発進警告が有効になっているとき、車両の速度が 50 km/h (12.4 mile/h) を下回り、前の車両との距離が20m 以内に入ると、本機は音声で警告するか、画面に警告を表示します。	オン / オフ
	ヘッドライト警告	ヘッドライトが作動しているとき、音声か画面で警告を発し、十分な明るさが録画画面で検知されていないことを知らせます。	オン / オフ
	速度カムアラート	車両が速度検知カメラに接近すると、音声または画面でそれを知らせます。	オン / オフ

メインメニュー	機能一覧	説明	使用可能なオプション
	制限速度アラート	ユーザー定義の速度制限。 車両の速度が設定値を超えると、音声で警告します。	オフ / 50 km/h ~ 200 km/h
	運転者疲労警報	運転者疲労警報が有効になっていると、本機の電源が入ってから 1 時間後に音声による警報と警告画面が始動します。その後、30 分おきに繰り返されます。	オン / オフ
	動体検知	動体検知が有効になっている場合、前方で物体の移動が検知されたとき、自動的に録画を開始します。電池が満充電後、動作検知モードでの連続録画時間は30分です。	オン / オフ
	衝突検出	衝突の振動が検知されると、自動的に緊急録画を開始します。	高感度 / 標準感度 / 低感度 / オフ
	加速/減速警報	衛星が車両の位置を特定した後、加速/減速警報を有効にすると、車両の速度が 70 km/h (43.5 mile/h) を超えてから 5 秒以内に 30 km/h (18.6 mile/h) 加速するか、50 km/h (31 mile/h) を超えてから 5 秒以内に 20 km/h (12.4 mile/h) 減速したときに、音声または画面で警告を発します。	オン / オフ

メインメニュー	機能一覧	説明	使用可能なオプション
録画	解像度	ビデオ解像度の設定。	FHD (1080P/30fps) / HD30 (720P/30fps) / HD60 (720P/60fps)
	EV	露出補正を設定します。	+2.0 ~ -2.0
	自動録画	本機の電源を入れた後に自動録画を有効にする設定。	オン / オフ
	ビデオ継続時間	選択した時間長で個々のビデオファイルを保存します。	3分 / 5分
	音声録音	ビデオのオーディオを有効にする設定。	オン / オフ
	時間表示	記録した画像またはビデオの日付印と時刻印を示す設定。	オン / オフ

注意:
本製品が外部電源と接続しない場合、LDWS、FCWS、前方車両発進警告、ヘッドライト警告、速度カムアラート、制限速度アラート、運転者疲労警報、衝突検出、ACC/DEC 警報など、すべての***安全運転*** 機能が無効になります。

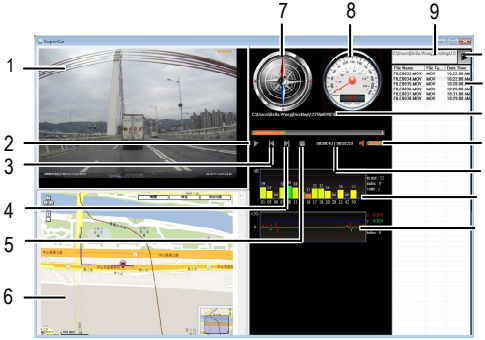
5 ソフトウェアのインストール

1. 付属の CD ROM を CD プレーヤーに挿入します。
2. CD が自動的に実行しない場合は、Windows ファイルマネージャーを用いて CD 内の **Install_CD.exe** ファイルを実行します。

   次の画面が表示されます。

3. [メニュー] 項目を押し、画面の指示に従ってインストール処理を開始してください。

6 スーパーカー



番号	項目
1	ビデオプレーヤー
2	再生/一時停止
3	戻る
4	次へ
5	停止
6	Google Map
7	方位
8	速度計

番号	項目
9	ファイルパス
10	ブラウザーファイル
11	ファイルリスト
12	ファイル名
13	音量
14	現在の時間長/合計時間長
15	信号雑音比 (SNR)
16	G センサー

注意:
1. Google Map に経路を表示するには、ビデオの再生を始める前にインターネットに接続します。
2. ビデオファイル(MOV/TS)とGPS/Gセンサーファイル(NMEA)は再生を始める前に同じフォルダーに保存する必要があります。
3. SuperCarソフトウェアはWindowsオペレーティングシステムにのみ適用されます。

7　仕様

項目	説明
イメージセンサー	1/2.7 インチ CMOS センサー
有効ピクセル数	1920 (H) x 1080 (V)
ストレージメディア	Micro SDHC Class 6 をサポート、最大 32GB
LCD ディスプレイ	2.7" LCD カラー TFT タッチスクリーン
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F2.0、f=3.4mm
フォーカス範囲	1.5m～無限大
衛星システム	GPS / GLONASS (衛星による車両の位置特定機能はモデルにより異なります)
Wi-Fi	802.11 b/g/n (無線ネットワーク機能はモデルにより異なります)
ムービークリップ	解像度: FHD (1080P/30fps)、HD30 (720P/30fps)、HD60 (720P/60fps)
	形式: MOV
静止画像 (スナップショット)	解像度 : 2M (1920 x 1080)
	形式: JPEG
シャッター	電子シャッター 自動: 1/2 ～ 1/2000 秒
Gセンサー	3軸 Gフォース センサー
ISO	自動

項目	説明
ホワイトバランス	自動
マイクロフォン	はい
スピーカー	はい
インターフェイス	Mini USB
バッテリー	内蔵 470mAh 充電可能リチウムポリマー
動作温度	0°～ 50°C
動作湿度	20 ～ 70% RH
保管温度	-20°～ 80°C
寸法	80 x 30.3 x 51.2 mm
重量	約 82g (メモリカードなし)

内蔵 IEEE 802.11n WiFi モジュール：WN7911B-WM

周波数範囲	2412～2462MHz
チャンネルリスト	Ch1～Ch11

工事設計認証取得の特定無線設備内蔵

CONTAINS APPROVED RADIO MODULE

R：201-140251

T：D 14-0080 201

著作権 © 2014

著作権所有。

本ガイドに記載するその他すべてのマーク、製品、または会社名は各社の商標です

Polaroid

Questions?
Need some help?
This manual will help you enjoy your new product

If you still have questions, call our help line:
1-877-456-6055

or visit us at:
www.polaroid.com